

2016 年 12 月 15 日

報道関係各位

公益社団法人日本アドバタイザーズ協会

消費者が選んだ、今年いちばん「心に響いた」広告が決定！ ～第 55 回JAA広告賞 消費者が選んだ広告コンクール 受賞作品発表～

延べ 130 名の一般消費者審査員が 1,938 点の中から選出した評価ポイントは
『おもわず引き込まれてしまうクリエイティブ』と『共感即購買行動』

公益社団法人日本アドバタイザーズ協会(理事長:伊藤 雅俊 所在地:東京都中央区銀座)は、第 55 回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクールの入賞作品を発表しました。

同広告賞は、審査員に広告の関係者を含まず、広告の受け手である消費者が生活者の視点から審査を行う世界でも類を見ない大きな特徴を持つ総合広告賞です。今年度は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web、屋外・交通の 6 部門合せて 1,938 点の応募がありました。

最高賞であるJAA賞グランプリは、味の素、花王、赤城乳業、ゆうちょ銀行、日本郵便、パナソニックの各社が、また、経済産業大臣賞は大塚製薬が受賞した他、全 68 作品が入賞しました。

賞	部門	受賞社名	タイトル
JAA 賞 グランプリ	新聞	味の素株式会社	これ、ぜんぶ失敗作・・・から生まれた料理です。
	雑誌	花王株式会社	むちゅうって、よごれることだ。
	テレビ	赤城乳業株式会社	値上げ
	ラジオ	株式会社ゆうちょ銀行	「ATM の人・サラリーマン」篇
	Web	日本郵便株式会社	WHITE Tree Letter
	屋外・交通	パナソニック株式会社	見えない方がいい広告。
経済産業大臣賞	テレビ	大塚製薬株式会社	見せてやれ、底力。

この件に関するお問い合わせ先

公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 JAA 広告賞事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 東和ビル 8 階
☎ 03-3544-6580 FAX 03-3544-6581
e-mail contest@jaa.or.jp

JAA 賞グランプリ作品



新聞広告部門 味の素株式会社

これ、ぜんぶ失敗作・・・から生まれた料理です。

■全部失敗作ってあるけど全部おいしそう。なんで失敗作なんだろうと引き込まれてしまった。

(選考委員:男性)



雑誌広告部門 花王株式会社

むちゅうって、よごれることだ。

■いろんな汚れた手のビジュアルがそのまま商品に結びつくシンプルさがいい。分かりやすく、単純に使いたくなった。

(選考委員:女性)

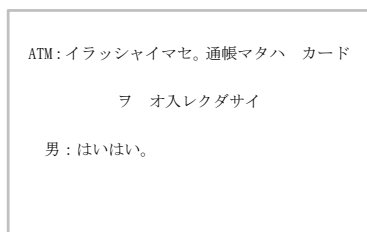


テレビ広告部門 赤城乳業株式会社

値上げ

■そんなに頑張ったんだったら買いますよという気持ちになったし、実際に買いに行っちゃいました。

(選考委員:女性)

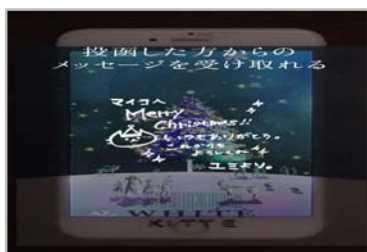


ラジオ広告部門 株式会社ゆうちょ銀行

「ATMの人・サラリーマン」篇

■楽しく聴けてどんどん引き込まれた。何かをやっている、手を休めて聞き入ってしまった。

(選考委員:男性)



Web広告部門 日本郵便株式会社

WHITE Tree Letter

■アナログとデジタルの組み合わせが上手。デジタル世代の孫と一緒に使ってみたい。

(選考委員:女性)



屋外・交通広告部門 パナソニック株式会社

見えない方がいい広告。

■1回見ただけでも面白いけど、何回も見たくなる。「見えない部分を見えるように」という発想のユニークさと技術力が伝わってきた。

(選考委員:男性)

経済産業大臣賞作品



テレビ広告部門 大塚製薬株式会社
見せてやれ、底力。

■作品に対する努力に非常に感動した。ストーリー性、映像の奇抜さ、音楽とのバランスが大変よい。

(選考委員:男性)

■芳賀康浩審査委員長のコメント

消費者の声や姿に学ぶことの重要性和インサイトを捉えることの難しさを感じた審査会でした。消費者は広告視聴のプロフェッショナルなのかもしれません。

■入賞作品について

協会ホームページ <http://www.jaa.or.jp> にて公表しています。

■JAA 広告賞とは

公益社団法人日本アドバイザーズ協会は、昭和 36 年(1961 年)からその中核事業として「消費者のためになった広告コンクール」を開催してまいりました。昨年、近年の広告環境の激変に対応するため、審査方法等を刷新し、名称も「JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」と改め、広告の受け手(消費者)が選ぶという原点をより強調した広告賞としました。

今年度は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、Web、屋外・交通の 6 部門合せて 1,938 点の応募がありました。「好感、共感、親近感が持てる広告であるか」、「わかりやすく、納得できる広告であるか」、「オリジナリティが感じられる広告であるか」という審査基準のもと、延べ 130 名の消費者審査員による選考によって 68 作品が入賞しました。

■公益社団法人 日本アドバイザーズ協会について

日本の有力なアドバイザー企業・団体自らが共同して、広告活動の健全な発展のために貢献することを目的として活動する公益社団法人です。マーケティング・コミュニケーションにデジタルを活用すべく研究・情報収集を行っている Web 広告研究会を有し、「人材育成事業」「調査研究事業」「表彰事業」「啓発普及事業」「相談助言事業」「他団体への支援連携事業」「広報事業」の 7 つの事業を基に、会員が協同して活動をしています。

正会員社 292 社 賛助会員社(Web 広告研究会)420 社(2016 年 12 月 15 日現在)